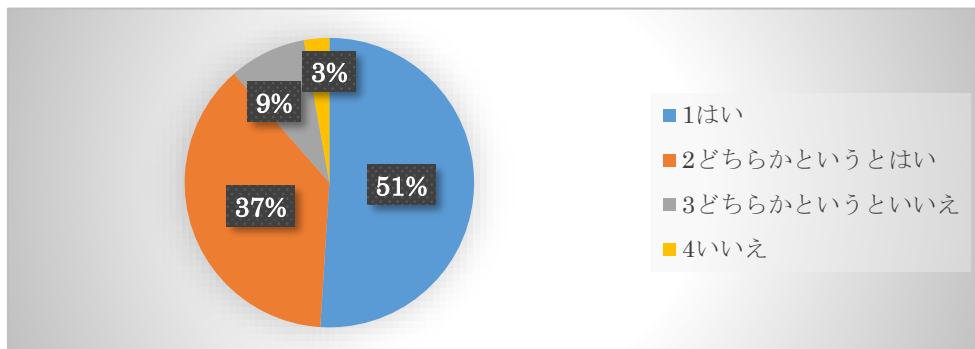


石教研技術・家庭科部会 2016年度 生徒アンケート調査より

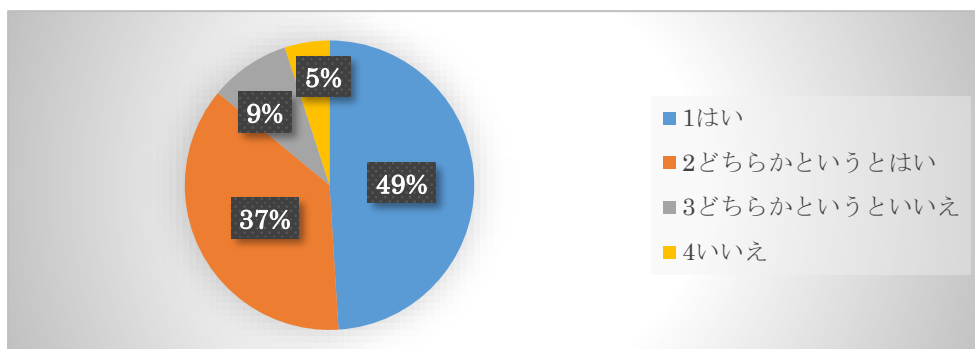
＜対象；石狩管内全中学校 1～3学年抽出生徒合計 1,952名 2016年11月実施＞

2016年度の生徒実態調査では、「作品製作や実習が好きな生徒」の数値は高い結果になりましたが、「生活の中で問題を見付けたり、解決しようとしたりする生徒」や「より良い生活を送るために自分で考えたり生活を工夫したりしている生徒」の数値が低い結果となりました。これは、「**実際の生活の中で、主体的に問題を見付け、工夫し創造しながら解決する力**」に課題があると考えられます。そこで新しい研究計画では「**問題解決型学習のプロセスの重視、連鎖的思考の導入**」をすすめることにしました。北海道技術・家庭科の研究主題「**社会にいきる技術・家庭科教育**」にもつながります。

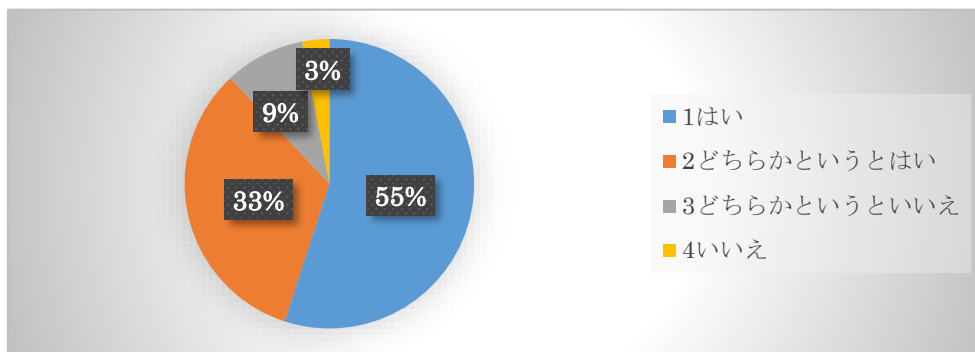
1. 技術・家庭科の学習に興味や関心がありますか？



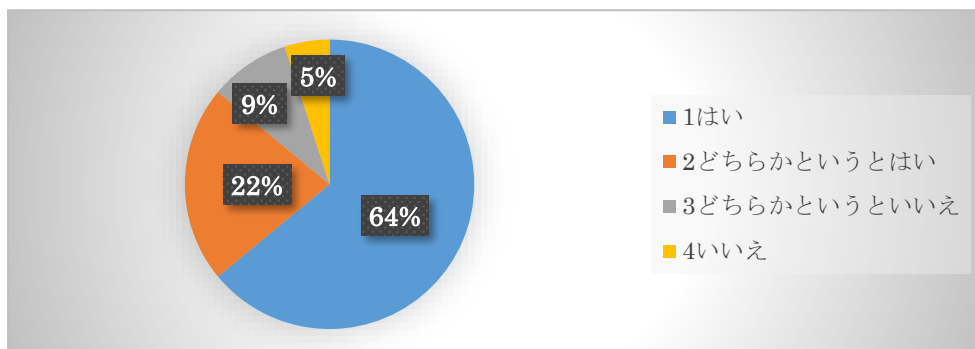
2. 技術・家庭科の学習が、日ごろの生活や社会に役立っていることがありますか？



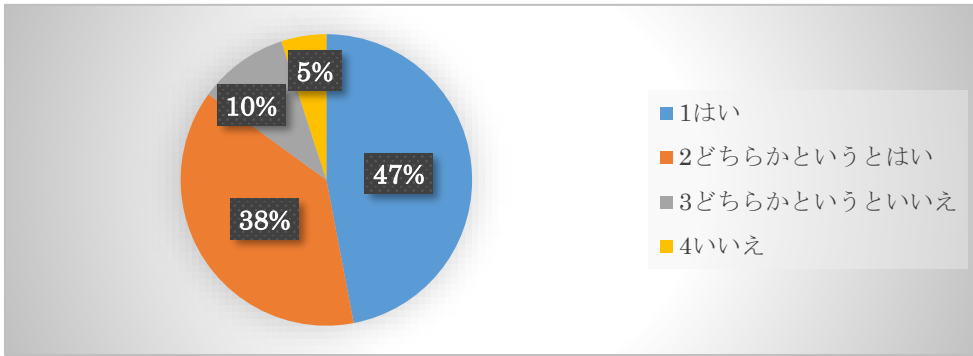
3. 技術・家庭科の学習で、友達と学び合ったり協力し合ったりする場面はありますか？



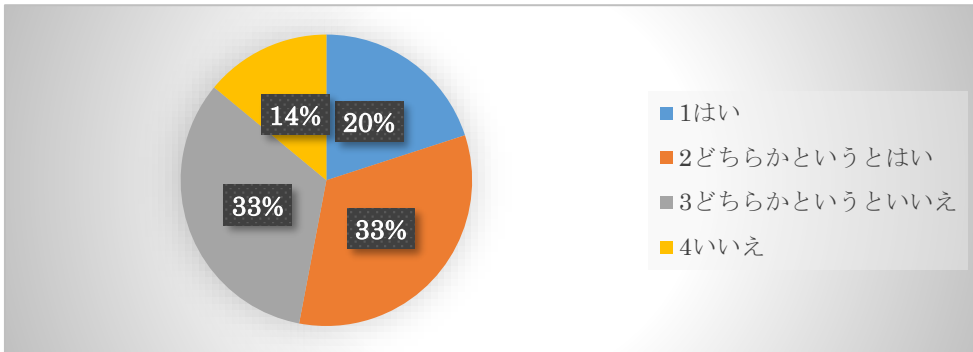
4. 技術・家庭科で、作品を作ることや実習をすることは好きですか？



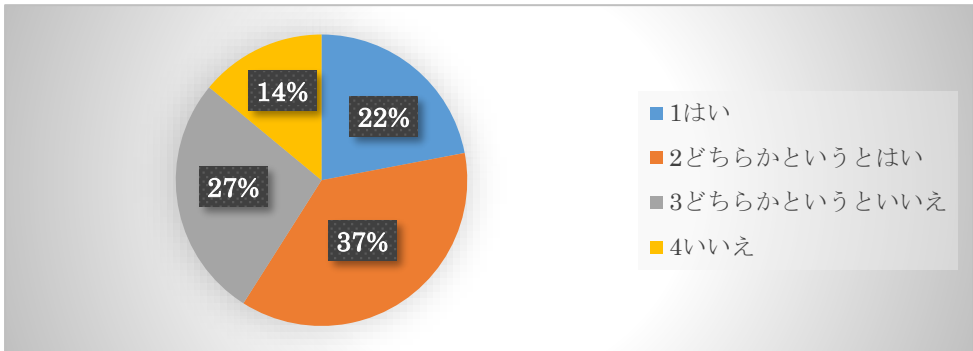
5. 作品作りや実習の時は、それぞれ目的を持ってとりこんでいますか？



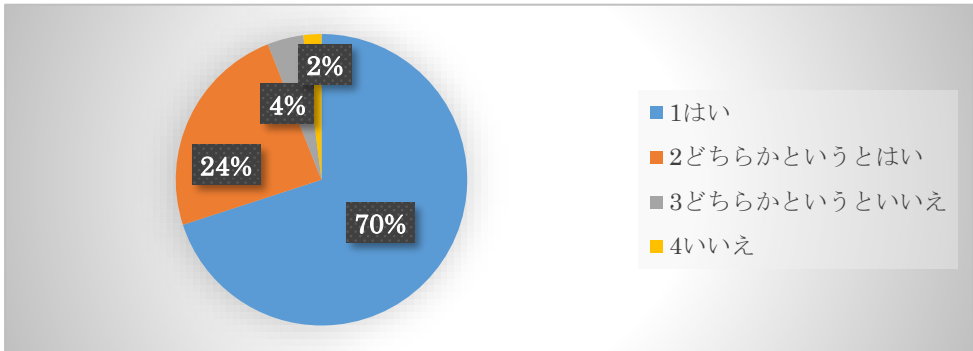
6. 日ごろの生活の中で、技術や家庭科に関する問題を見つけることがありますか？（課題）



7. 「質問6」のような問題を見つけた時、それをそのままにせず解決しようと思いますか？（課題）



8. よりよい生活を送るために、自分で考えたり生活を工夫したりする力は大切だと思いますか？



9. よりよい生活を送るために、自分で考えたり生活を工夫したりしていると思いますか？（課題）

